

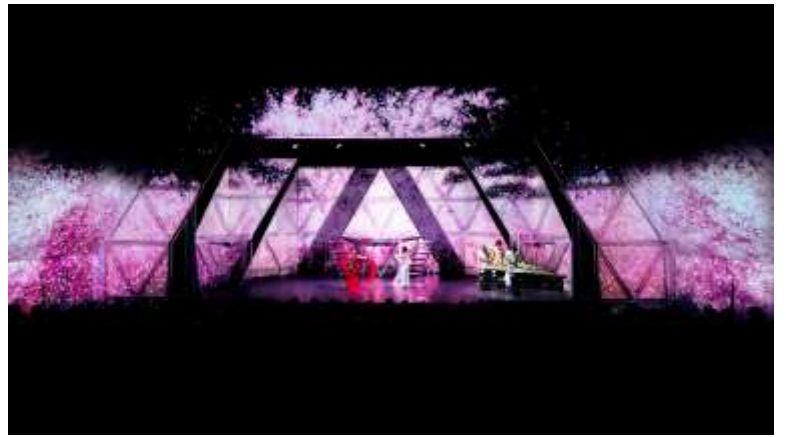
2018年12月3日

## 訪日外国人向け和太鼓エンタテインメント公演『万華響－MANGEKYO－』 有楽町での常設公演決定！DRUM TAO 出演で年間 500 回開催予定

JTB グループで様々なコミュニケーションサービスを提供する株式会社 JTB コミュニケーションデザイン（東京都港区、代表取締役社長：細野 顕宏、以下 JTB コミュニケーションデザイン）は、2019 年で開催 3 年目を迎える主催公演『Revolutionary New Drumming Entertainment in Tokyo 万華響－MANGEKYO－』の常設開催を決定しました。

『万華響－MANGEKYO－』は、JTB コミュニケーションデザインと世界 26 カ国 500 都市での公演で観客動員数 800 万人の実績を誇る和太鼓エンタテインメント集団 DRUM TAO（ドラムタオ）が共同で企画、制作するエンタテインメントコンテンツです。これまでに、2017 年 9 月の 60 公演を皮切りに、2018 年は春期、秋期を合わせて 240 公演を開催し、多くの皆様から好評を得ました。特に訪日外国人観光客の方々には、伝統的かつ前衛的な和太鼓サウンドとプロジェクションマッピングなどのテクノロジーの融合による日本独自の演出に対し、国籍や言語に関係なくどんな人にも通じるノンバーバル（非言語）エンタテインメントとしての評価をいただきました。

今回決定した『万華響－MANGEKYO－』の常設公演は、訪日外国人の方がいつ日本に来てでも観光の合間に楽しめるスポットとして、2019 年 4 月 10 日（水）から有楽町・オルタナティブシアターにてスタートし、年間 500 回の開催を予定しています。



©チームラボ

※写真は 2018 年春期公演（有楽町）より

JTB コミュニケーションデザインは『万華響－MANGEKYO－』の開催を通して、本公演の魅力を国内外に発信すると同時に、「世界が訪れたくなる東京そして日本」を目指す取り組みにも貢献していきます。また、新たなエンタテインメント交流拠点として東京をデザインすることで、新たなコミュニケーションを創造していきます。

< 報道関係の方からのお問い合わせ先 >

JTB 広報室 TEL : 03-5796-5833

< 一般のお客様からのお問い合わせ先 >

JTB コミュニケーションデザイン プロモーション事業部 エリアマネジメント事業部

担当：井上・大西 TEL:03-5657-0698

【『万華響－MANGEKYO－』常設公演開催概要】※2018年12月3日現在

■名称：Revolutionary New Drumming Entertainment in Tokyo 万華響－MANGEKYO－

■開催日：2019年4月10日（水）から

■開催会場：オルタナティブシアター（有楽町）

東京都千代田区有楽町2丁目5番1号 有楽町マリオン（有楽町センタービル）  
別館 7F

■主催：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

■企画・制作：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン、株式会社タオ・エンターテイメント

■出演：DRUM TAO（ドラムタオ）

■協力：株式会社スタジオアルタ

■公式サイト：<https://mangekyo-tokyo.com/>

※公演カレンダー、入場料、販売場所に関しては、公式サイトにて、順次掲載します。

【出演者情報】

■DRUM TAO（ドラムタオ）



「THE 日本エンターテインメント」として世界で称賛されている、国内屈指のナンバーバル（非言語系）エンターテインメント和太鼓集団です。世界 26 カ国 500 都市での公演で観客動員数 800 万人の実績を誇る。2015 年にはブロードウェイ・トニー賞 4 部門にノミネートされた制作チームが TAO のために再集結し、2016 年には NY オフ・ブロードウェイ公演を大成功に収めました。世界中が注目する DRUM TAO の活動は、現在、多くのメディアからも注目を浴びています。

【開催会場】

■オルタナティブシアター（有楽町）



2017年7月にグランドオープンした、スタジオアルタが運営する最先端エンターテインメント劇場です。約400の客席は舞台に近く、どの席からもステージがよく見えるレイアウトで、お客さまと舞台との一体感を演出します。様々な舞台機構を有し、他では体験できない劇場空間づくりに取り組んできた実績を誇ります。また世界有数の繁華街「有楽町」に位置することから、交通機関が多数乗り入れており、そのアクセスの良さから、平日や休日を問わず、多くの人々で賑わい、観劇のみならず、食事やショッピングも楽しむことができるエリアとして、更に注目を集めています。